

# 小中一貫教育だより

## 交野みらい学園の「めざすことも像」

- 豊かな人権感覚を持ち、自他ともに大切にする子
- 自ら学び、よく考え、粘り強く実行する子
- 活力を持ち、たくましい心や身体をもった子

交野市立第一中学校 校長 竹田 知宏  
交野市立交野みらい小学校 校長 徳長 裕

交野みらい学園開校まで、約1年半となりました。交野みらい学園の教職員は、教育内容や組織体制等について、繰り返し話し合いを行い、義務教育学校として、スムーズにスタートできるよう努めています。

交野市では初となる義務教育学校の開校に向けては、保護者や地域のみみなさま方のご理解とご協力が必要となります。引き続き本学園の教育活動にご支援をよろしくお願いいたします。

## R7年4月の開校に向けて

2学期からは、学習内容だけでなく、行事のあり方や学校生活のルール等、学校運営に関するあらゆる内容を決定していくことから、プロジェクト会議に加えて、各プロジェクト会議の代表者が集まった実行委員会も行いました。

義務教育学校の特徴でもある1つの教職員組織として、児童・生徒の発達段階を踏まえた学校運営を行うために、引き続き、小・中学校の教職員が連携して会議を進めていきます。



## 交野みらい学園 先生インタビュー 重本教頭 編

重本教頭は、夏休みどのように過ごされましたか？

夏が大好きなので、海でダイビングして一日中ずっと潜っていました。山も大好きなので、マウンテンバイクで山の中を駆け抜けていました。

小学校に着任して約半年になりますが、小学校と中学校の違いを感じることはありますか？

もちろん、たくさんあります。例えば、小学校は上靴で体育館に入れること。中学校は必ず履き替えます。他には小学校は、担任の先生が朝8時に教室に行くと、16時まで一度も戻ってきません。中学校は毎時間職員室に戻ってきます・・・などです。

そして、子どもたちがとっても可愛いこと。中学生は周りへの意識が高まり、気を使ってくれたり、遠慮したりして大人な対応をしてくれます。小学生は、無邪気に目を輝かせながら、自分の事を必死に話してくれる姿がとても新鮮です。

しかし、違いはたくさんあれど、先生方が子どもたちを想う気持ちは一緒だと気



付きました。

これからやろうとしていることを教えてください。

真面目な話になりますが、令和7年度に小中が一緒になり子どもたち1,000人以上、先生方で80名近い規模の学校になります。今までの組織の在り方では、うまく機能していかないと感じています。そのために、子どもの発達段階を考え、教科担任制や学校行事のありかた、そして、我々の情報共有の方法などの仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

交野市初の小中一貫校、先日工事現場を訪問し建物をイメージしながら現場の方の説明を聞きました。建物の素晴らしさはもちろんですが、それ以上にみらい学園にかける保護者の方の想い、地域の方の想い、そして教職員の想いを教育行政の方々の支援のもと、開校時に掲げた理念や想い、そして仕組みが未来に繋がるように精一杯向き合いたいと思います。

## 中学校では、夏休み後にテストがあります

夏休みは、これまで学習した内容の復習や学習習慣の定着、興味や関心があることに取り組む自由研究など、たくさんの宿題が出されます。夏休みにしかできないことに挑戦した人もいたと思われます。

中学校では、夏休み後の8月29日(火)に、1、2年生は復習テスト、3年生は実力テストを実施しました。さらに3年生は、実力テストだけでなく、9月5日(火)には、大阪府中学生チャレンジテストもありました。

交野みらい学園を卒業する9年生の終わりには、自らの進路を選択しなければなりません。交野みらい学園では、より多くの教職員が子どもたちと関わり、子どもたちを多角的・多面的に見ながら、義務教育9年間を見通した小中一貫教育をすすめ、子どもたちの力を伸ばしていきます。



## 部活動も頑張っています

現在、第一中学校には、以下の部活動があります。

文化系：吹奏楽・美術・茶道

体育系：野球・卓球・女子バレーボール・バドミントン  
バスケットボール・ラグビー・陸上



優秀な成績を残した部や個人を表彰しました。



8月27日(日)には、吹奏楽部が枚方まつりで演奏を行い、たくさんの人たちに聴いてもらいました。